



テラサイクルとともにヘルメットのリサイクルプログラムを開始 ～ヘルメットのリサイクルによる事故防止の啓発と循環型社会への寄与～

日新火災海上保険株式会社（社長：織山晋、以下「当社」）は、2024年9月より、リサイクル企業であるテラサイクルジャパン合同会社（アジア太平洋統括責任者：エリック・カワバタ、以下「テラサイクル」）と協働し、プラスチック製のヘルメットを回収する「ヘルメットリサイクルプログラム」（以下、「本プログラム」）を開始いたしました。

社会貢献活動は企業としての社会的使命であり、当社は、代理店の皆さまとともに継続的に推進できる活動を検討した結果、グローバルなリサイクル企業であるテラサイクルのサポートにより、ヘルメットのリサイクルルートを提供する運びとなりました。

当社は、本プログラムにより、一般的に耐用年数が3～5年とされるヘルメットの適切なタイミングでの交換を促し、事故防止の啓発に貢献してまいります。また、リサイクルがまだ広く浸透していないヘルメットについて地域のリサイクルルートを補います。

<当社織山のメッセージ>

「当社のパーパスは、「リテールのお客さま一人ひとりに寄り添い“あんしん”をお届けする」ことです。「リテールのお客さま」「一人ひとり」とは、契約者以外にも契約者とかかわりのある方、つまり、代理店や将来当社の契約者になりうる方でもあります。また、「寄り添い」「あんしん」とは、いざという時の安心だけでなく、平時も安心して暮らしていくことのできる社会や環境を提供することです。『当社は、契約者にかかわるすべての方々と繋がりを持ち、事故や災害が起きた時だけでなく平時から日々寄り添い安心して過ごせる社会に貢献していく会社でありたい』。このパーパスに込めた想いを実現する一つとして、ヘルメットリサイクルに取り組みます。」

<テラサイクル アジア太平洋統括責任者エリック・カワバタ氏のメッセージ>

「安全性への意識の高まりによって、年々ヘルメットの需要も高まっていますが、今までヘルメットのリサイクルに取り組む企業は多くありませんでした。ヘルメットは、非常に硬い材質のABSや、熱可塑性プラスチックのポリカーボネート、繊維強化プラスチックなど複数のプラスチック素材からできています。これらを回収分別すれば、それぞれの材質ごとに、新しく再生利用することが可能です。今回、日新火災海上保険が実施するヘルメットのリサイクルプログラムは、柔軟な発想から生まれた、人々の生活に寄り添う素晴らしい取り組みで、循環型社会実現を推進する優れた事例となるでしょう。」

【実施概要】

回収期間：2024年9月より実施

回収対象：プラスチック製のヘルメット（自転車用、バイク用、スポーツ用、災害用、工業用など）

回収場所：当社の営業店、本プログラムに参加した当社代理店

詳細は下記公式ホームページをご確認ください。

<テラサイクルについて>



テラサイクルは、「捨てるという概念を捨てよう」というミッションのもと、現在の複雑化する廃棄物問題に対し、革新的で持続可能なソリューションの開発に取り組むソーシャルエンタープライズです。リサイクル・再生資源・リユースを推進するプラットフォームを構築・運営し、世界 21 カ国で活動しています。

<https://www.terracycle.com/ja-JP/>